事例研究報告

特別支援学校小学部児童がトークンエコノミーシステムを使用し効果的にコミュニケーション能力の向上を図るための支援

アドバイザーからの助言

＜数字＞

① 指数字と音声の一致を目指す。
　刺激内プロンプトの手法を使う。

＜単語＞

② 名称理解は排他律を使って指導する。
③ 名称理解できたものは命名課題に移行する
④ 名前を言うことができるように，言葉のイントラバーバル指導を行う。

＜歯磨き＞

⑤ 磨いている時だけカウントすることで，磨き続けることを強化する。

＜その他＞

・ご褒美の量を減らして強化する頻度を上げる。
・ご褒美を渡す時は称賛を模倣させ，一緒に喜ぶことで社会性を強化する。

指導目標の見直し

① 数字の音声を聞いて，対応する数字カードに指を合わすことができる。

② 新しい語彙を8個以上獲得することができる。

③ 写真または絵カードを見て，「これは」の問いに正しい単語を答えることができる。

④「お名前は」の問いに自分の名前を答えることができる。

⑤ 手順書で示された6カ所を，10秒間磨き続けることができる。

指導1：新しい語彙を8個以上獲得する

【指導手続き】

＜Step１～３共通＞

・ご褒美を選ぶ。
・各Stepとも6回試行する。
・Step1～Step3まで，一連の流れとして実施する。
・各Stepとも，正解したら言語称賛して磁石を渡す。
　６個貯まったら言語と拍手で称賛してご褒美を渡す。

＜Step１＞

1. 既知カード2枚と教えたいカード1枚の3枚を提示して発問する。
2. 発問の順番や提示場所はランダムにする。

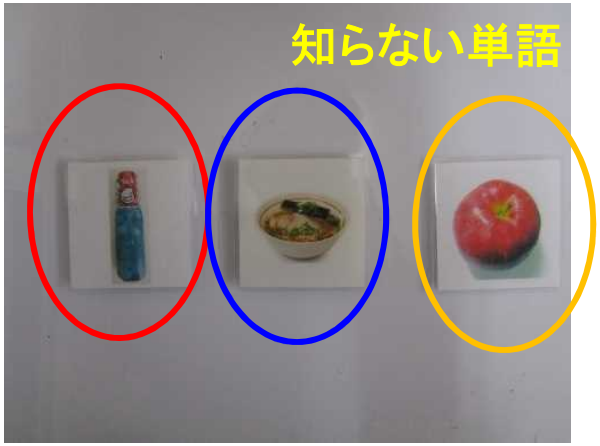
Step1

【指導手続き】

＜Step2＞

1．既知カード，教えたいカード，知らないカードの3枚提示で発問する。

2．知らないカードは発問しない。



Step2

＜Step3＞

1．知っているカード10枚の中に教えたいカードを入れ，発問する。
（理解を確認する。）

Step3

記録方法と記録

正しいカードを取った　〇

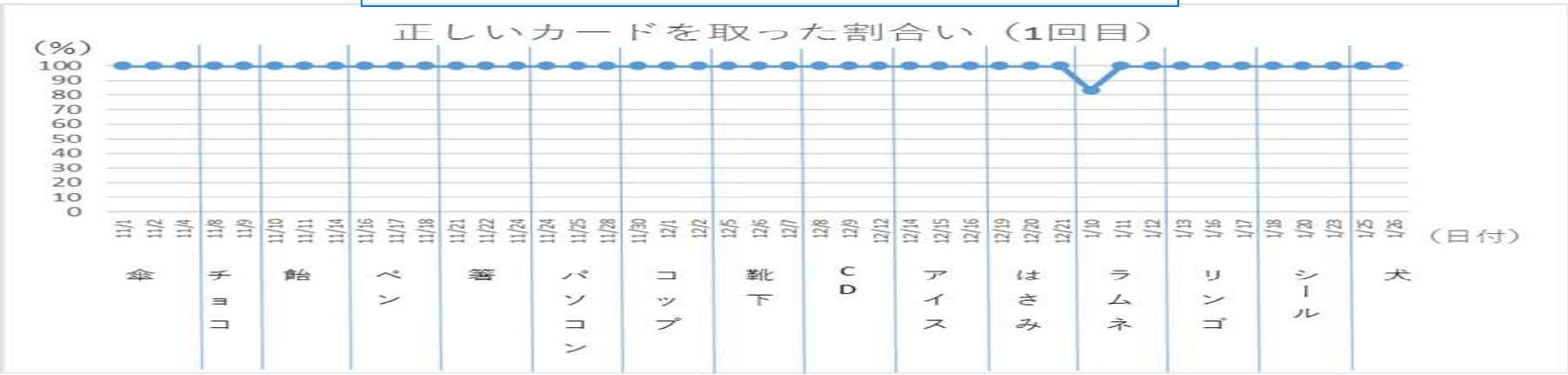
ヒントありで取った、間違ったカードを取った　×

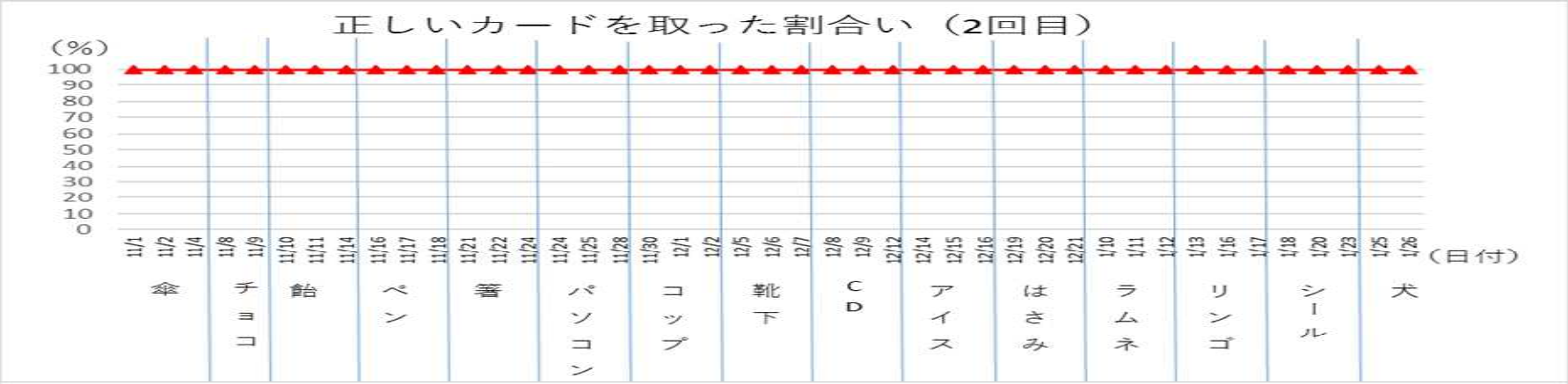
$$\text{正反応率} = \frac{\text{正しいカードを取った回数}}{\text{質問回数}} \times 100$$

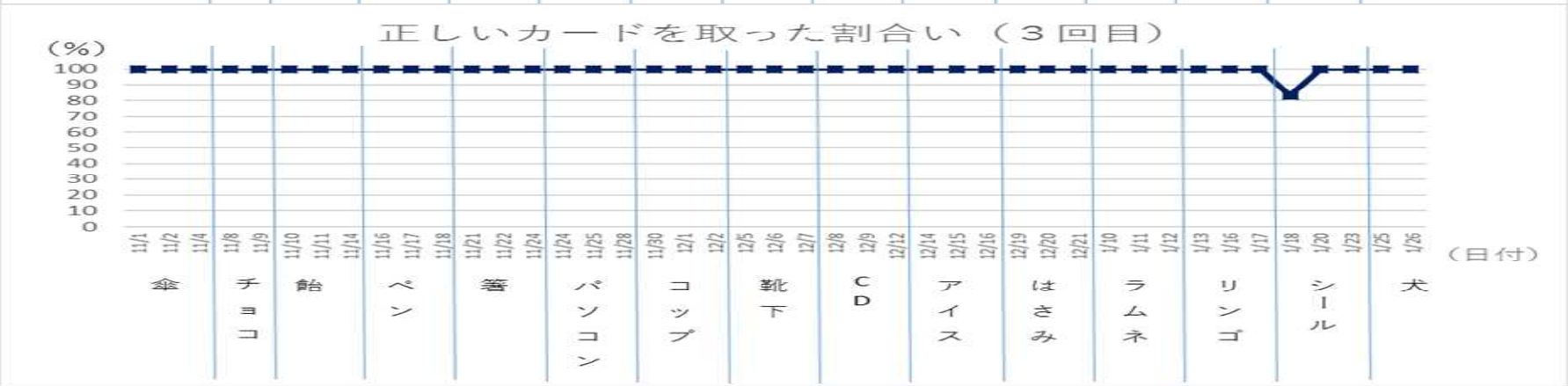
【達成基準】

正反応率が3日連続で100%のとき

指導1の成果


正しいカードを取った割合い（1回目）
(%)
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
11/1 11/2 11/4 11/8 11/9 11/10 11/11 11/14 11/16 11/17 11/18 11/21 11/22 11/24 11/24 11/25 11/28 11/30 12/1 12/2 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/12 12/14 12/15 12/16 12/19 12/20 12/21 1/10 1/11 1/12 1/13 1/16 1/17 1/18 1/20 1/23 1/25 1/26
（日付）
傘
チョコ
飴
ペン
箸
パソコン
コップ
靴下
CD
アイス
はさみ
ラムネ
リンゴ
シール
犬


正しいカードを取った割合い（2回目）
(%)
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
11/1 11/2 11/4 11/8 11/9 11/10 11/11 11/14 11/16 11/17 11/18 11/21 11/22 11/24 11/24 11/25 11/28 11/30 12/1 12/2 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/12 12/14 12/15 12/16 12/19 12/20 12/21 1/10 1/11 1/12 1/13 1/16 1/17 1/18 1/20 1/23 1/25 1/26
（日付）
傘
チョコ
飴
ペン
箸
パソコン
コップ
靴下
CD
アイス
はさみ
ラムネ
リンゴ
シール
犬


正しいカードを取った割合い（３回目）
(%)
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
11/1 11/2 11/4 11/8 11/9 11/10 11/11 11/14 11/16 11/17 11/18 11/21 11/22 11/24 11/24 11/25 11/28 11/30 12/1 12/2 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/12 12/14 12/15 12/16 12/19 12/20 12/21 1/10 1/11 1/12 1/13 1/16 1/17 1/18 1/20 1/23 1/25 1/26
（日付）
傘
チョコ
飴
ペン
箸
パソコン
コップ
靴下
CD
アイス
はさみ
ラムネ
リンゴ
シール
犬

結果

・各Stepとも，指導初日から現在まで，継続してほぼ100％正解が続いている。
・15個の語彙を新しく獲得することができた。

考察

・教えたいカードと知っているカード，教えたいカードと知らないカードの組み合わせ
　→自然とエラーレス指導を継続でき，名詞理解が進んだと考えられる。
・Step１～Step3までの手続きを１セクションとして実施
　→繰り返し学習することができ，定着が進んだと考えられる。

指導2：写真または絵カードを見て，「これは」の問いに正しい単語を答える

【指導手続き】

1．ご褒美を選ぶ。
2．カードを数枚提示し，単語を言う。
3．次の発問をするまで単語を言い続ける。
4．カードを取ったらそのカードを眼前に提示し，音声模倣を促す。
5．「これは？」と発問してマイクを向ける。
6．正解したら言語称賛して磁石を渡す。6個貯まったら言語と拍手で称賛してご褒美を渡す。

・言葉のヒントは減らしていく。
・ヒントなしで答えた単語はフラッシュカードで確認する。

記録方法と記録

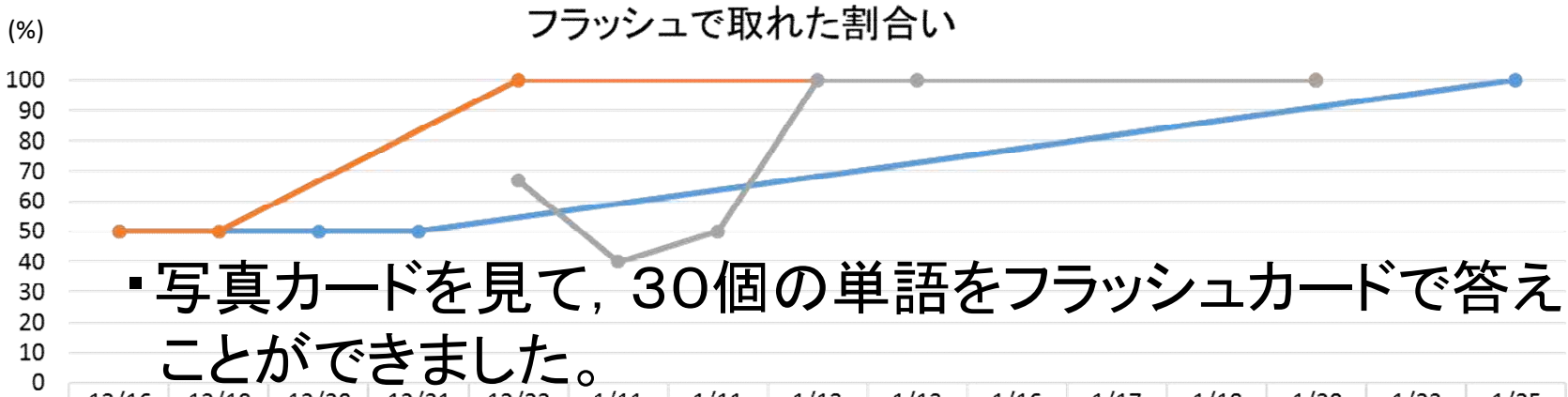
フラッシュで正しく答えた　◎
ヒントなしで答えた　〇
ヒントありで答えた，間違った　×

$$正反応率＝\frac{◎の回数}{試行回数}\times 100$$

【達成基準】

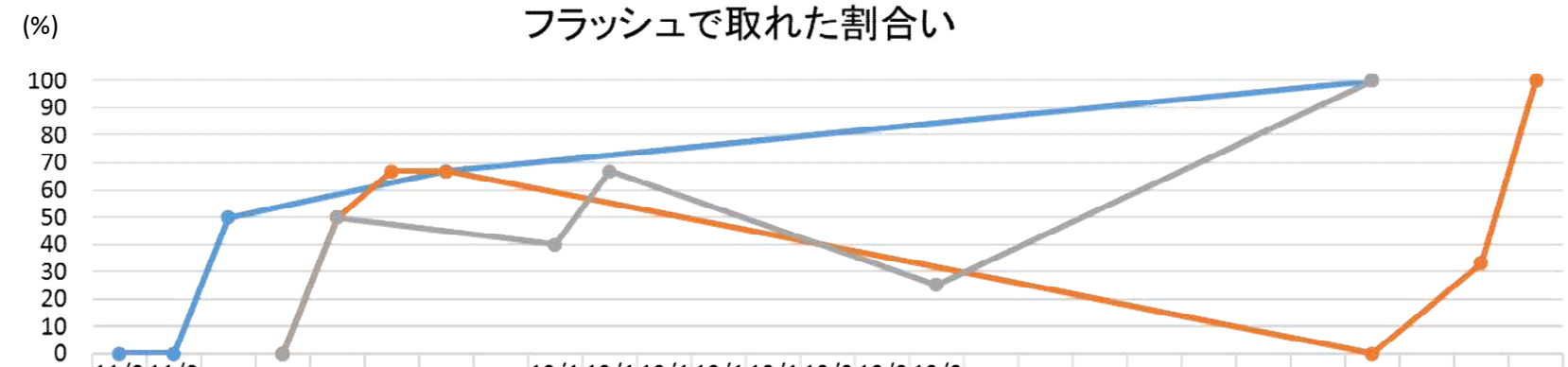
フラッシュで答えることが２日連続で100％のとき

指導2の成果



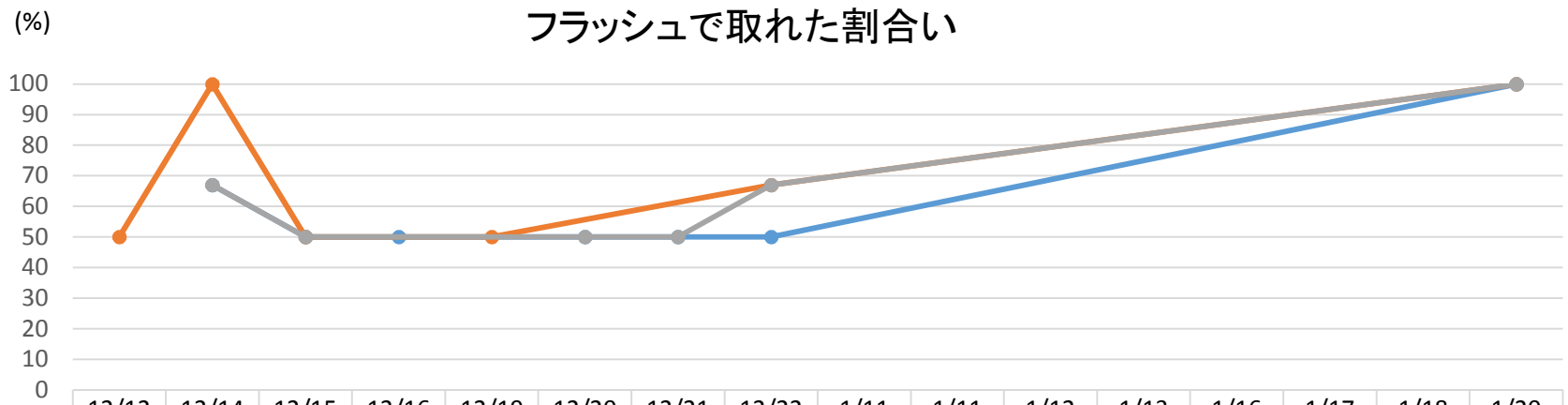
・写真カードを見て，30個の単語をフラッシュカードで答えることができました。

	12/16	12/19	12/20	12/21	12/22	1/11	1/11	1/12	1/13	1/16	1/17	1/18	1/20	1/23	1/25
アイス	50		50	50											100
車	50	50			100								100		
靴下					67	40	50	100	100				100		

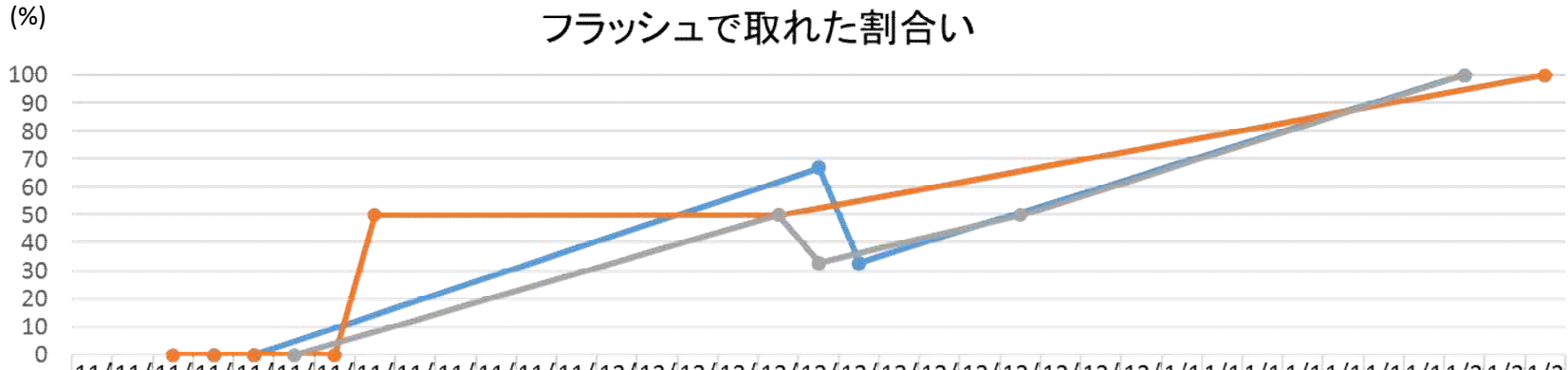


	11/28	11/30	12/2	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/12	12/14	12/15	12/16	12/19	12/20	12/21	12/22	1/11	1/11	1/12	1/13	1/16	1/17	1/18	1/20	1/23	1/25	1/26
パソコン	0	0	50				67																	100			
コップ				0	50	67	67																	0		33	100
猫				0	50				40	67						25								100			

指導2の成果

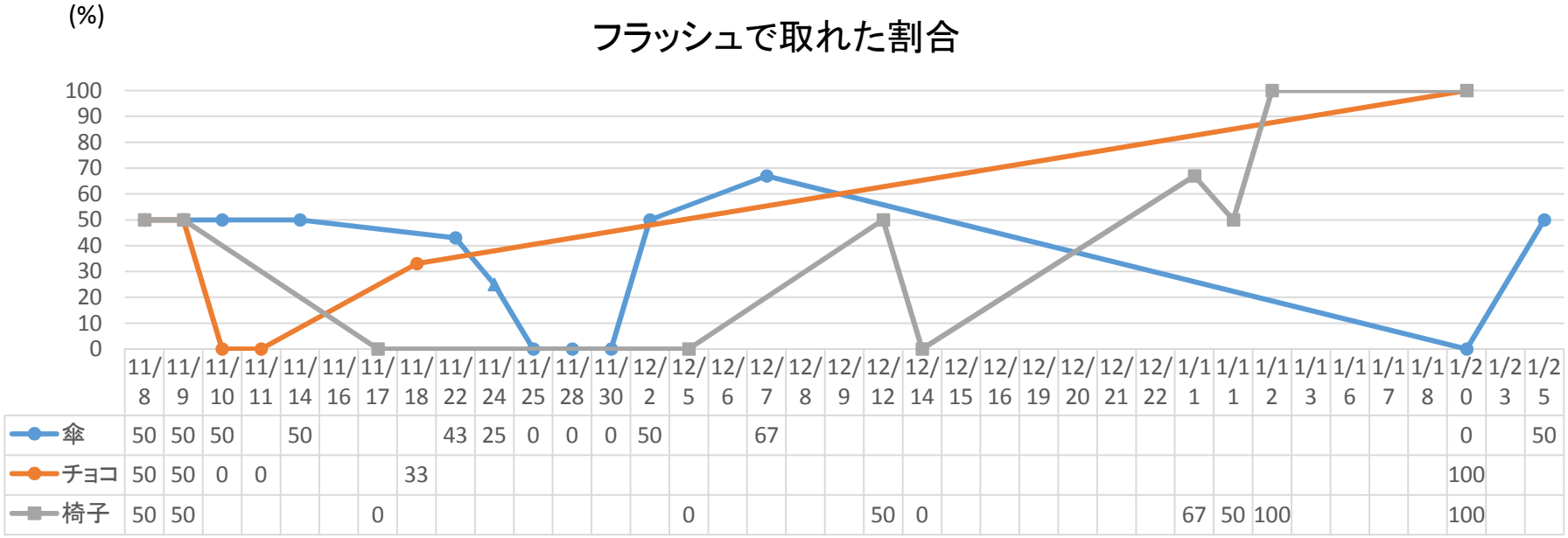


	12/12	12/14	12/15	12/16	12/19	12/20	12/21	12/22	1/11	1/11	1/12	1/13	1/16	1/17	1/18	1/20
牛		67	50	50		50	50	50								100
CD	50	100	50		50			67								100
テレビ		67	50			50	50	67								100

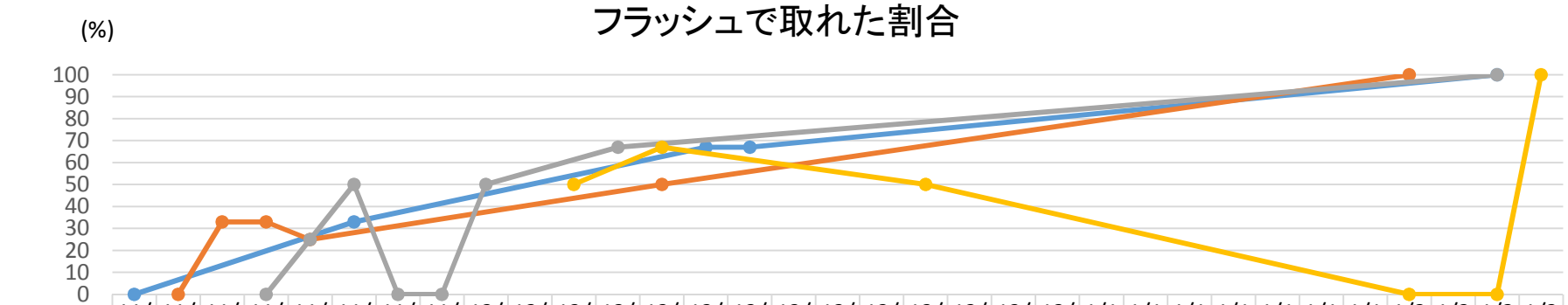


	11/8	11/9	11/10	11/11	11/14	11/16	11/17	11/18	11/22	11/24	11/25	11/28	11/30	12/2	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/12	12/14	12/15	12/16	12/19	12/20	12/21	12/22	1/11	1/11	1/12	1/13	1/16	1/17	1/18	1/20	1/23	1/25
水筒				0	0														67	33															100		
帽子			0	0	0		0	50										50																			100
タイマー						0												50	33					50											100		

指導2の成果



	11/8	11/9	11/10	11/11	11/14	11/16	11/17	11/18	11/22	11/24	11/25	11/28	11/30	12/2	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/12	12/14	12/15	12/16	12/19	12/20	12/21	12/22	1/11	1/11	1/12	1/13	1/16	1/17	1/18	1/20	1/23	1/25
傘	50	50	50		50				43	25	0	0	0	50			67																		0		50
チョコ	50	50	0	0				33																											100		
椅子	50	50					0								0					50	0							67	50	100					100		



	11/16	11/17	11/18	11/22	11/24	11/25	11/28	11/30	12/2	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/12	12/14	12/15	12/16	12/19	12/20	12/21	12/22	1/11	1/11	1/12	1/13	1/16	1/17	1/18	1/20	1/23	1/25	1/26
飴	0					33								67	67																	100	
ペン		0	33	33	25								50																	100			
箸				0	25	50	0	0	50			67																				100	
靴											50		67						50											0		0	100

ここが成功のポイント

○　カードを選択中も単語をヒントとして聞いていて，ヒントを聞く機会が多く，理解に繋がった。

○　同じ学習場面，同じ発問，同じ答え，同じご褒美システムで何を答えればよいかが明確であった。

○　繰り返し学習とエラーレス指導が効果的だった。